

レクリエーション

19	キャンプファイアー	30
20	キャンドルの集い	31




19. キャンプファイア

ねらい	○火を囲んで歌やゲームで楽しみ語り合い親睦を深める ○火の特性としての温もりと危険性の二面を知る			
条 件	場所	イベント広場	対象	制限なし
	時間	1時間	人数	最大100名程度
	時期	通年	天候	晴れ：○ 雨：×
準備物	茜が準備・貸し出せる物		団体が準備するもの	
	組木、薪、新聞紙、トーチ、ライター 灯油、バケツ、一輪車		アンプ、マイク、懐中電灯、衣装、	
展 開	1. 事前(当日までの準備) (1)当日の人数、班編成、イベント広場の空き、活動の流れを確認する。 (2)役割分担を行い、必要なものを準備する。 (3)進行自体は団体側が考える。 ☆キャンプファイヤーの「ねらい」を決めて実施する。 2. 活動(当日の流れ) (1)キャンプファイヤーの組み立てや灯油・バケツの準備は茜側が行う。 (2)その他キャンプファイヤーに必要なもの準備をする。 (3)イベント広場に入る前から雰囲気づくりをすると効果的である。 3. 事後(片付け) (1)薪はすべて燃やしてしまう。 (2)茜側から借りた道具はイベント広場の端にまとめて置いておく。 (3)場合によってはバケツの水で消化する。灰は茜側が片付ける。			
実施の留意点	<ul style="list-style-type: none"> • 雨や風が強いときは中止になる場合があるのでキャンドルのつどい等の代案プログラムを考えておく。 • ファイヤー（火）に近づかないなどのルールを確認する。 • バケツには水を入れておく。 • トーチは腕を伸ばし灯油が持ち手側にたれないように持つ。 			



20. キャンドルの集い

活動の目的	○キャンドルを囲み火の大切さやありがたさを理解する ○火の特性としての温もりと危険性の二面を知る			
条 件	場所	2号館ホール	対象	制限なし
	時間	1時間～2時間	人数	人数により会場設定（相談）
	時期	通年	天候	晴れ：○ 雨：○
準備物	燭台、ブルーシート、ろうソク ライター		団体が準備するもの ろうソク、アンプ、マイク、衣装	
	1. 事前(当日までの準備) (1)当日の人数、班編成、ホール広場の空き、活動の流れを確認する。 (2)役割分担を行い、必要なものを準備する。 (3)プログラム自体は団体側が考える。 ☆キャンドルのつどいの「ねらい」を決めて実施する 2. 活動(当日の流れ) (1)ろうソク台とブルーシートの準備は燭側が行う。 (2)キャンドルの集いに必要なものを準備をする。 (3)ホールに入る前から雰囲気づくりをする効果的である。 3. 事後(片付け) (1)借りた道具は会場の端にまとめて置いておく。 (2)ろうソクのろうが床にたれないようにする。			
展 開				
実施の留意点	・手持ちろうソクに分火するときは、火がついているろうソクを持っている人は動かさずに火を受ける人が上からろうソクを近づけて火をもらおう。			